

# キャリアサポートシステム



基礎研修・開校式



国際財務理論研修・海外研修



北海道大学大学院へ派遣

## 研修

職員のキャリアパスに応じた研修体系の下で、財務に関する専門知識の習得のための研修の強化に取り組んでいます。

研修は、財務省研修所（東京都北区）で実施する中央研修、各財務局で実施する地方研修、自学自習の通信研修の3つから構成されています。

### 基礎研修（一般職員向け）

<中央研修>

#### ■基礎研修(50日程度)

財務省研修所を会場に、本省・財務局に新規に採用された職員全員を対象に、採用直後の4月から約2ヶ月間全寮制で実施します。ここでは財務省職員としての基礎知識、ビジネスマナーに関する講義のほか、配属先ごとに分かれて専門的かつ実務的な講義を実施しています。

<地方研修>

#### ■地方基礎研修

上記中央研修終了後、各財務局において、地域の実情に応じた基本実務、専門実務を修得するための研修を実施しています。

#### ■配属別転課者研修（経済調査、財務、金融、管財の4コース）

新たな業務の系統に異動した職員を対象に、配属先の系統別に実務に関する基礎知識を習得するための研修を実施しています。

### 実務研修（役付職員向け）

金融検査基本技能研修など、業務に必要な専門的・実務的知識や理論を習得させるためのもので、約40コースを設け、財務局のほとんどの業務をカバーしています。

<中央研修>

経済調査事務研修、主計事務研修、融資事務研修（Ⅰ・Ⅱ）、デリバティブ研修、金融検査実務技能研修、銀行監督実務研修、国有財産総合研修、国有財産審理事務研修など

<地方研修>

初任検査官研修、証券取引研修、国有財産事務研修など

### 特別理論研修（中堅係員から係長向けの公募制研修）

財務専門官の中核的人材を育成するために、より高度な専門知識・理論や教養等を習得するための研修を実施しています。

<中央研修>

#### ■国際財務理論研修（国内20日程度、海外10日程度）

中堅係員以上を対象に、業務の国際化に対応した国際会計基準等の知識を習得させるものです。国内研修と海外研修で構成されます。

#### ■不動産鑑定理論研修（年3回20日程度）

不動産に関する行政法規、不動産鑑定理論に関する高度な知識を習得させるための研修を実施しています。

#### ■高等理論研修（50日程度）

係長級を対象にした公募・選抜型研修で、高度な経済・法律理論、実践的実務、及びマネジメント能力を付与し、今後の財務局行政の中核となりうる職員を養成します。

### 通信研修

職員の自己啓発を支援する研修です。業務に関する知識や関連した資格を取得するため、「簿記（1～3級）」「中小企業診断」「宅地建物取引理論」「金融（5コース）」「英語（3コース）」「ファイナンシャル・プランナー（2～3級）」「ビジネス実務法務（2～3級）」等の各コースを用意しています。

## 勤務条件・福利厚生

### 給与

初任給：17万円程度

（行（一）1級25号俸）

その他にも、扶養手当・通勤手当・地域手当等の各種手当が、規定に基づいて支給されます。

### 勤務時間・休暇

勤務時間は原則として週38時間45分です。

休日は土曜、日曜、祝日法による休日、年末年始（12/29～1/3）です。

このほかに、年次休暇（年20日。採用の年は15日）や夏季、結婚等の特別休暇があります。

また、フレックスタイムを積極的に活用できます！

### 福利厚生

組合員となる国家公務員共済組合では、各種の給付事業（病気・けが等）や福祉事業（医療・貯金等）を行っています。

# 国内留学制度



## 加納 正貴

KANO MASAKI

### PROFILE

平成20年4月 北海道財務局 管財部審理課 採用

平成22年7月 函館財務事務所 理財課

平成24年4月 北海道財務局 総務部主計課

(平成24年4月～平成26年3月)

北海道大学大学院へ国内留学)

平成26年4月 北海道財務局 総務部会計課

平成28年7月 北海道財務局 理財部主計課主計実地監査官

(平成28年11月 公認会計士試験最終合格)

平成29年7月 北海道財務局 理財部理財課証券監査官 (現職)

私は、平成24年4月から2年間、「北海道大学会計専門職大学院」に留学し、最先端の情報に触れながら会計分野の研究を行ってまいりました。研究内容は、財務諸表の作成・分析に関するもの、公認会計士監査に関するもの等、幅広い分野にわたるものでした。

研究活動を通して、財務諸表を作成する際の一定のルールや財務諸表と公認会計士の監査証明書の関係等を学び、財務諸表に関する知識を深めることができました。このような財務諸表に関する知識は、財務諸表作成会社の財務状況の把握に役立っております。

留学を通して特に感じたことは、集中して研究できることのありがたさです。社会人になって、好奇心のあることに集中的に研究できる機会は極めて少ないと思います。時間の大切さを噛みしめながら研究することで、モチベーションにつながり、効率的な研究を進めることができましたと実感しております。

財務局は、財政投融资、地域金融機関の検査・監督、国有財産の管理処分等、業務が多岐にわたっており、さらに、それらの業務一つ一つに専門性が求められております。そのため、国内留学や各種資格取得のための研修等、スキルアップするための環境が充実しており、そこで得たスキルを業務に生かすことができます。

こんな財務局で皆さんぜひ一緒に働いてみませんか。

# 海外研修制度



## 花井 志朗

HANAI SHIROU

### PROFILE

【北海道大学 法学部 卒】

平成26年4月 函館財務事務所 財務課 採用

平成28年7月 北海道財務局 管財部統括国有財産監査官付

(平成29年10月 国際財務理論研修(国内))

平成30年2月～3月 国際財務理論研修(海外))

平成30年7月 金融庁証券取引等監視委員会事務局 総務課 国際調整係 (現職)

私は、財務局職員として、平成30年2月下旬から約10日間、アメリカのワシントンD.C.及びニューヨークへ渡り、国際財務理論研修を受講しました。

本研修では、事前に20日間程度の国内研修があり、国際的な会計分野に関連した講義を受講しています。アメリカでの10日間では、普段の業務や国内研修で興味を持ったテーマや事案について、実際にアメリカの国際機関(IMFやIBRD等)や金融機関、監査法人で働く方々に直接話を伺うことができます。ワシントン・ニューヨークという、世界政治・経済の中心地の雰囲気を感じることができ、大変刺激を受けた研修でした。

私自身の話をすると、決して特別英語ができるわけではないですが(海外渡航自体ほぼなく、英語は大学の教養以来でした)、会計分野を通じて、こういった海外研修のチャンスを貰うことができました。

財務局では、海外研修のほかにも、各種資格取得、国内留学を含む多様な研修制度が整っており、様々なことにチャレンジ可能な環境が用意されております。みなさんもそんな魅力あふれる財務局で働いてみたくありませんか。一緒に働ける日を心待ちにしております。

